

矢中の杜

二〇二一



NPO 法人“矢中の杜”の守り人 会報

CONTENTS

- ▶ 活動報告 P 2
- ▶ 会計報告 P 10
- ▶ ご挨拶 P 11

活動報告

邸宅公開

毎週土曜日と第2、4日曜日の午後
に邸宅公開を実施しました。感染症対応として、引き続きチケット配布やアンケート、団体見学などお休みしています。8月7日(土)〜9月26日(日)の間は、公開を休止し、状況によりガイドツアーの休止もありました。今年度の見学者は、合計569名(うち有料見学者数490名)です。

感染症の中での公開も2年目。制限のある中で、どうしたらゆったりした時間を過ごしてもらえるか、矢中の杜を伝えられるか、と考えながらの公開で、現在は邸宅内だけでなく庭園も散策していただいています。今後しばらく、工夫をしながらの公開が続きます。(守り人N)

年末大掃除

2021年最後の邸宅公開を無事に

終えた翌日の12月19日(日)に毎年恒例の年末大掃除を行いました。普段なかなか手入れが行き届かないところを綺麗にし、一年の締めくくりとす日です。

作業は邸宅内と庭園に分かれて進めました。邸宅内では窓ガラスの拭き掃除や板床の糠雑巾がけ、神棚の掃除など。庭園では、男性陣が樹々の枝落としや屋根のコーキング処理などを行いました。

久しぶりに活動に参加する人、初めての人、メンバーの子ともたちも集い、わいわいと賑やかな時間が流れました。午前中の短い間でしたが、掃除したところは見違えるようにピカピカとなり、清々しい心地で一年の活動を納めることができました。(守り人I)

つくばね学

今年度の実習は、中庭の小道の整備や本館押入れの中の調査、レコードの整理をしたほか、恒例となった障子と網戸の入れ替えや大王松の葉を集めて「敷松葉」に取り組んでくれました。

10月24日(日)のつくば市生涯学習「社会力講座」では「つくばね学」が取り上げられ、講座参加者にも実習先としての矢中の杜を訪問していただきました。実際に取り組んだ生徒と矢中



の杜スタッフと共に、その内容や感想などの発表をして活動を紹介、ライブ配信も行われました。12月には筑波高校で行われた報告会で、1年間の実習成果を発表、2月には2年生による中間報告会がありました。

生徒たちは矢中の杜に着くと、毎回雨戸を開け、しまつてあるちゃぶ台を出して準備します。その慣れた様子から「矢中の杜はまだまだ知られていないから、もっと宣伝しようよ」という提案や、自分たちで考えたことを実践したいという要望など、生徒側からの発信があり、頼もしい思いです。(守り人N)

季節の掛け軸の掛け替え

矢中の杜所蔵の掛け軸を、お天気が良く、湿度の低い日を選んで、虫干しを兼ねて季節ごとやイベントなどに合わせて掛け替えをしています。掛け替えは、守り人中心に行うことが多いのですが、時には、その時にいらっしやうた見学者に「一緒にぜひ!」とお願ひすることも。また、掛け替え作業を見て「貴重な作業を見せてもらってありがとうございます」と、嬉しいお言葉をかけて頂くこともしばしばあり、守り人にとっては、とてもやりがいのある作業でも

あります。まだまだ素晴らしい掛け軸がたくさん眠っているので、掛け替えのペースはゆっくりではありますが、大切かつ丁寧にこれからも続けていくので、楽しみにしてください。(守り人S)

■邸宅公開

1 なかなか外出しにくい時期が続きましたので、雑飾りなどは例年よりじっくり楽しんでいただけようでした 2 こたつの時期でも邸宅内は風通し抜群です 3 マスクの下はいつも笑顔でお迎えています

■年末大掃除

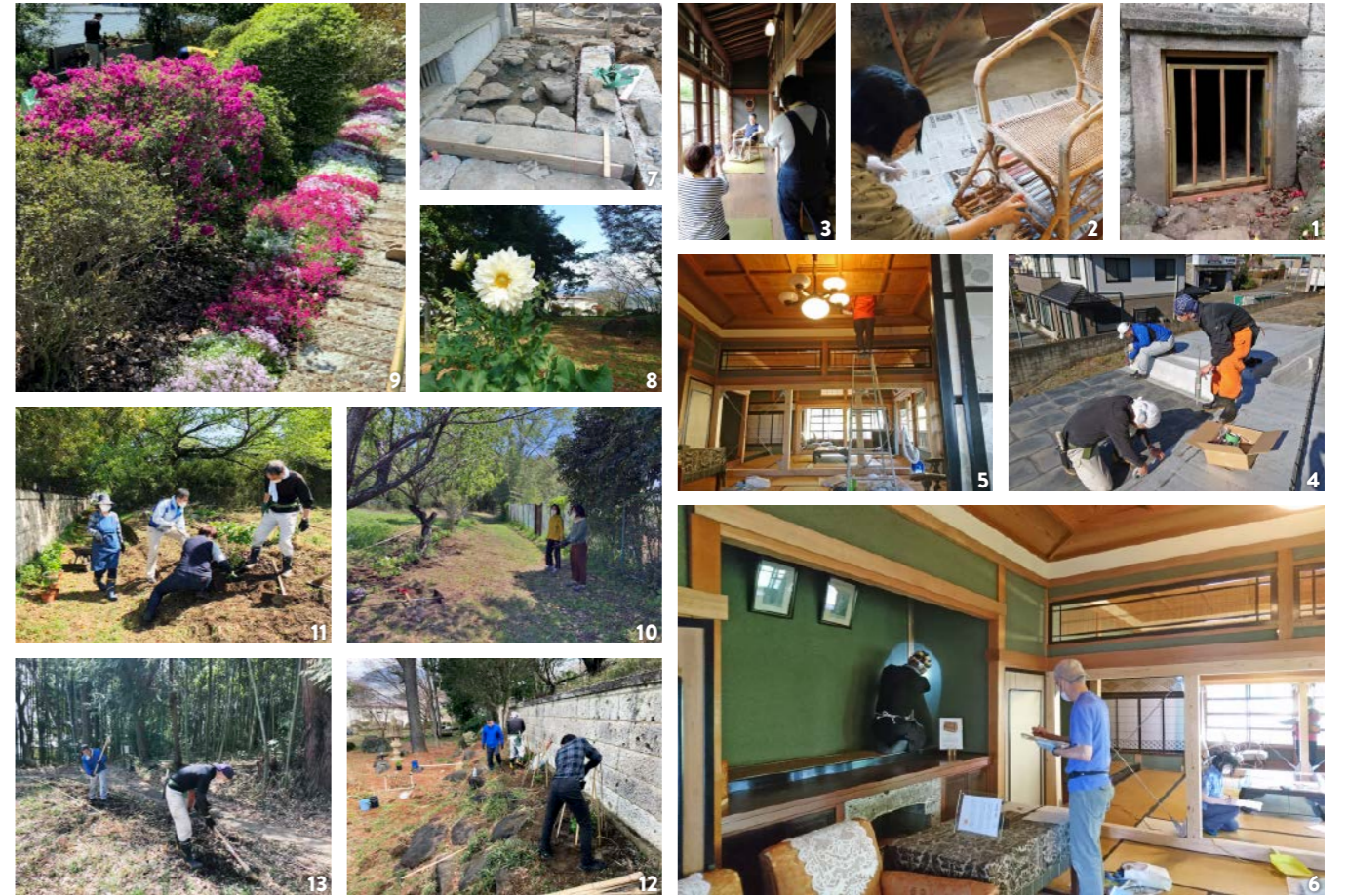
4・5 寒い中、窓もピカピカに 6 大きくなった枝もすっきり整理 7・8 小さな守り人もしっかり頑張りました 9 いい天気で作業もはかどりました

■つくばね学

10 網戸と障子の交換も手慣れたものです 11 座敷の押入れ調査では一つ一つサイズを測ってリスト化 12 一つずつ写真記録も残します 13 つくば市の社会力講座ではつくばね学の取り組みを一般の方に紹介しました 14 敷き松葉も恒例行事になりました 15 中庭でのインタビューは別館2階から撮影してオンラインでも配信

■季節の掛け軸の掛け替え

16 疫病除けや魔除けの効果があるという鍾馭(しょうぎ)図(北川金鱗作)は長めに飾りました 17 ご見学の方と一緒に掛け替え 18 一緒に掛け替えた亀園(野沢如洋作)の傾きチェック中



邸宅の維持管理と修繕

今年度は邸宅の維持管理、修繕に重点を置き、邸宅を大切に使いつつ保存していけるよう、様々な対処を実施しました。

「横井戸」扉や奥庭の「裏木戸」の補強、矢中龍次郎氏の「籐椅子」の洗浄・塗装をしました。天井裏のハクビシン対策や庭のモグラの忌避対策など、動物たちの知恵比べもありました。

雨水対策は悩ましく、既存の「雨樋」は経路を変えするなど調整をしているところですが、手付かずだった陸屋根の雨樋は、安全ロープをつけて清掃をしました。雨漏り対策は、特に心配のあった。石段下の土が流出・沈下して、傾いてしまっていた箇所について、内部の空隙を埋め、石を再度敷くという工事です。工事部分に近接する本館座敷東側の基礎の下にも割れなどが発生しており、注視が必要です。

2022年3月16日(水)夜の地震(震度4)では別館バルコニー窓下の外壁剥落(一部・応急処置済)、大谷

庭園の管理・整備

今年も有志による「庭倶楽部」が各々のペースで活動し、整備を進めました。敷地内の草取り、樹木枝の伐採、各所の柵の製作など、矢中の杜敷地内での活動のほか、旧北条小学校前から久保山稲荷に抜ける小道の整備も引き続き行いました。守り人それぞれが育てた紫陽花や、関係者から提供していただいたクリスマスローズを植えたり、草刈りや竹の伐採なども行い、いつでも散策していただけるように整備しました。作業中、よく声をかけていただくこともあり、近隣の方の散歩道としても定着してきているようです。

入り口のブロック塀・門扉の解体撤去

2020年3月にワークショップで版築塀を作製してから、待ち望まれていた入り口のブロック塀と鉄の門扉の解体撤去が2021年8月7日(土)に行われました。2020年度の助成事業「国登録文化財『矢中の杜』の『通り庭』を参加型で整備する楽しい道づくり」の仕上げでもあり、危険を伴うブロック塀の解体として、つくば市の補助金も活用しました。狭かった歩道

石塀のずれが確認され、登録文化財毀損届を提出するに至りました。

最大の課題である「別館迎賓棟2階」の傾きへの対応として、現況の詳細調査を実施。引き続き、伝統技法研究会に調査をお願いし、別館の詳細な現況が確認されました。別館1階部分はこれまで鉄筋コンクリート造とされてきましたが、今回の詳細調査で、鉄筋コンクリートと大谷石積みを用いた造りとなっていることがわかりました。

現況図面に加え、補強工事の設計案を提案していただいています。今後は、この工事をいかに実現するかが、大きな課題となります。

- 邸宅の維持管理と修繕
- 1 横井戸の格子扉もきれいに作り替えました
 - 2 籐椅子(とういす)は洗って透明塗装を直し直したらピカピカに！
 - 3 修繕した籐椅子に座って撮影会。座ってみると矢中龍次郎さんになった気分です
 - 4 雨漏り対策に陸屋根(ろくやね)のコーキングを打ち増し
 - 5 伝統技法研究会による別館天井裏の調査
 - 6 建物の隅々まで劣化状況を調査していただきました
 - 7 本館東の「石段」の修繕
- 庭園の管理・整備
- 8 邸宅に似合う立派なダリアも咲きました
 - 9 昨年度に植えた芝桜は奥庭の名所になりました
 - 10-11 紫陽花を旧北条小学校の南の小道に植栽(2021年4月)
 - 12-13 中庭や久保山稲荷の南まで紫陽花をどんどん増やしています(2022年3月)

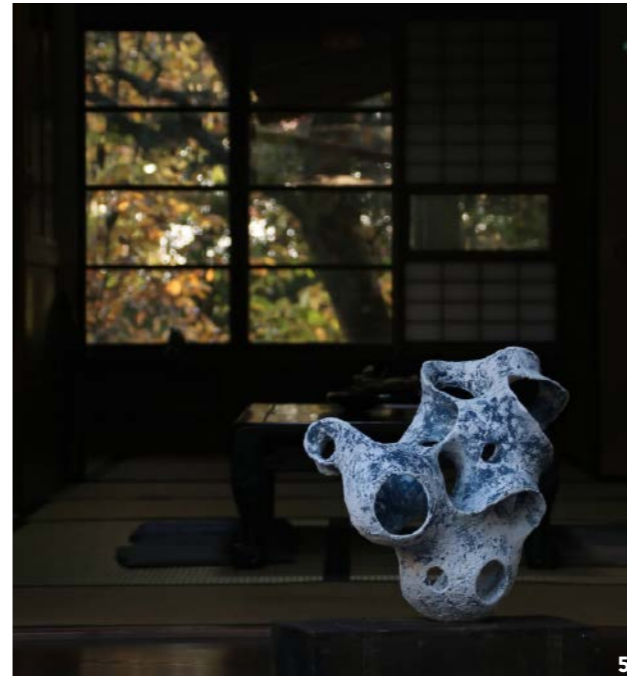
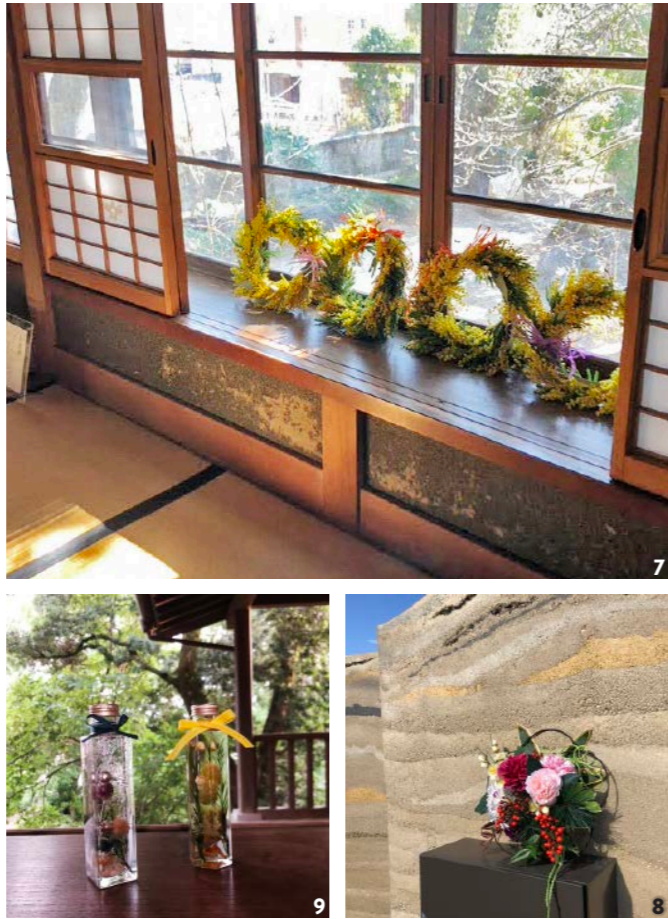
井戸の再生

前庭の井戸の再生のため、10月から4回に渡って電動ポンプで井戸水と底の泥の汲み上げを行い、11月に手押しポンプが設置されました。以前から再生したいとの構想があり、公益信託「エコいばらき」環境保全基金の助成を今年度いただき実現したものです。誰でも軽力で動かせるステンレス製のもの(その名もDRAGON!!)を選び、日頃から花壇の水やりなどにも使って管理しながら、災害時にはご近所からも汲みに来ていただけるような場所になれたらと思っています。

- 入り口のブロック塀・門扉の解体撤去
- 14 版築(はんちく)塀が目立ち、竹のサイクルスタンドと犬矢来(いぬやらい)の似合う入り口に 15 撤去前の入り口 16-17 ブロック塀と基礎を切断・撤去。基礎はとても頑丈でした 18 版築塀がお目見え！
- 井戸の再生
- 19 文字通り「井戸端会議」をしながらの作業 20-21 ポンプを下ろして底の泥水を池に組み上げるとだんだん澄んだ水に 22 軽い力で強力に組み上げるポンプ「DRAGON」。秋にはスキを纏ってお洒落さんに 23 庭木の水やりにも便利になりました



■邸宅利用
7 ミモザリースは元気になりますね！ 作る人で表情が変わります 8 正月飾りはこのように飾っても？ 9 夏は生花が長持ちしないので、涼しげなハーバリウムを 10 邸宅公開後の夕方に楽しくお花遊び 11 居間も心も華やかに。楽しい声が響きました 12 心静かに龍体文字を書き写すにも矢中の杜はいい空間ですね



■暮らしのなかの陶
1 大井真紀さんの作品。いつもの廊下も別世界に 2-3 毛塚友梨さんの作品。矢中の杜の風景に溶け込んでいました 4-5 不思議と馴染む陶作品は絵になります 6 前庭も久しぶりに賑やかに



「暮らしのなかの陶」展

紅葉の見頃を迎えた11月に開催した「暮らしのなかの陶」展では、現代陶作家として活躍する毛塚友梨さんとおおいまき大井真希さんの陶作品を展示しました。ギャラリーネオ（合同会社社ネオつくばプロジェクト）との共催です。邸宅の各所にお二人の陶作品が配置され、訪れる人の目を喜ばせました。矢中の杜に陶が不思議とよく馴染みながらも、いつもとは全く違う別世界のようにもなりました。守り人も、作品の世界観に溶け込み美しさを際立たせるかのような邸宅の芸術性に思わずうっとりしてしまいました。作家さんによって磨かれた矢中の杜の新たな魅力です。

また、3名の大学生守り人が慣れないながらも入り口で呼び込みをするなど展覧会を盛り上げました。彼らのこれからの活躍に期待ですね！
長らくイベントを開催できなかったため、「暮らしのなかの陶」展は矢中の杜にとって久しぶりの展示会でした。来場者の方にも感染症対策を徹底し、無事に会期を終えることができました。コロナ禍以前のように不安なくイベントを開催できるまではもう少しかかりそうですが、「暮らしのなかの陶」展は矢中の杜にとって久しぶりの展示会でした。来場者の方にも感染症対策を徹底し、無事に会期を終えることができました。コロナ禍以前のように不安なくイベントを開催できるまではもう少しかかりそうですが、「暮らしのなかの陶」展は矢中の杜にとって久しぶりの展示会でした。



邸宅利用

今年度はフラワーアレンジメント・プロデュースEmiさんと、「龍体フトマニ書の会」に邸宅をご活用いただきました。

Emiさんには、春には色とりどりの生花のアレンジ、夏には涼しげなハーバリウム、年末にはクリスマススワッグと正月飾り、2月には元気になる黄色のミモザリースと季節ごとのお花遊びで邸宅内を華やかにしていただきました。

「龍体フトマニ書の会」は、クリスタルボウルの響きとともに始まり、心静かに龍体文字を麻布に書き写すというワークショップで、邸宅内がとても荘厳な空気に包まれました。今後も様々なイベントで色々な邸宅の顔を見られたらと思います。
(守り人Y)

「陶」展はその足掛かりになったのではないのでしょうか。
(守り人MM)

守り人有志による
Instagram開始

今年度から、ホームページとフェイブックに加え、Instagramでの情報発信をはじめました。フェイブックの利用が少ない若い世代の方々にも矢中の杜について知っていただくことが一つの課題となっており、前々から構想は存在していましたが、担い手確保に希望が持てたことをきっかけにこれを具体化させ、「暮らしのなかの陶」展会期中の11月19日（金）に運用をスタート。守り人有志による運営という形式をとり、ゆるめの姿勢で月に数回程度投稿しています。2022年3月末の時点で、投稿は23を数え、フォローしていただいた方も1000人に達しました。投稿者ごとに異なる多彩な視点で、邸宅の日々を切り取っています。ぜひご覧ください。



アカウントの名前は「矢中の杜の守り人」、ユーザーネームは「@amazing_yanaka.no.mori」です。
(守り人K)

リモート会議になった
理事会と総会

- ▶ Instagramで矢中の杜の日々を発信しています
- ▼ 他団体開催の報告会にもリモートで参加しました



2021年度に開催されたNPOの総会と理事会は全て、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からリモートを活用した方法で開催されました。リモートでの会議開催が当たり前となつて久しくなり、リモートでも資料の共有機能によるわかりやすい説明や、十分な議論をすることができていると感じています。

また、リモートとなったことで全国どこにいても総会に参加できるようになったという状況も生まれています。ぜひ会員の皆さんもリモートを活用して総会に参加してください。矢中の杜にいるような気持ちになることができますよ。
(守り人W)

活動履歴

年	月	日	場所	活動内容
2021	4	20	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメント Emi ワークショップ」開催
	4	23	矢中の杜	つくばね学実習（前期）（～7/2）
	4	30	リモート参加	伝統技法研究会「伝技カフェ」において活動の紹介
	5	14	矢中の杜	筑波大学世界遺産専攻実習
	5	23	矢中の杜	総会（リモート併用開催）
	6	1	矢中の杜	別館詳細調査（伝統技法研究会）
	6	27	矢中の杜	邸宅利用「龍体フトマニ書の会」開催
	7	11	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメント Emi ワークショップ」開催
	7	18	矢中の杜	守り人満喫デー「益子参考館見学」
	8	7～9/26	矢中の杜	感染症拡大による邸宅公開の休止
	8	7	矢中の杜	門扉・ブロック塀解体工事
	8	12～8/20		夏期休業
	8	19	矢中の杜	本館東側石段修繕工事（19、20、26、27日）
	8	23	矢中の杜	別館詳細調査（伝統技法研究会）
	8	28	リモート参加	住まいとコミュニティづくり活動助成報告会
	9	18	矢中の杜	お掃除会
	10	8	矢中の杜	つくばね学実習（後期）（～11/26 1/21,28 は休止）
	10	24	矢中の杜	つくば市社会力講座（つくばね学の実施報告）
	10	27	矢中の杜	別館2階調査の中間報告
	11	6	矢中の杜	「暮らしのなかの陶」展（～11/21、各土日）
	11	8,12	矢中の杜	井戸ポンプ取り付け工事
	11	13	矢中の杜	守り人育成講座（北条の歴史）
	11	19	矢中の杜	守り人有志による Instagram の開始
	12	5	矢中の杜	本館雨樋掃除
	12	6	リモート参加	「たてもの応援団例会」において活動の紹介
	12	11	筑波高校	つくばね学報告会
	12	12	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメント Emi ワークショップ」開催
	12	19	矢中の杜	年末大掃除
	12	20～1/7	矢中の杜	年末年始休業
2022	2	16	矢中の杜	陸屋根雨漏り対応 コーキング処理
	2	25	筑波高校	つくばね学中間報告会
	2	27	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメント Emi ワークショップ」開催
	3	12	矢中の杜	守り人育成講座（文化財と矢中の杜の基礎講座）
	3	16	矢中の杜	地震による被害（バルコニー窓下外壁剥離と大谷石塀のずれ）

主なメディア掲載

年	月	日	掲載誌など名称	掲載内容
2021	4		d design travel IBARAKI 別紙「編集長の travel map」	地図上に矢中の杜の紹介
	4		「わくわくライフいばらき 2021 年春号」	巻頭特集「わくわく週末旅～つくば市北条～」にて矢中の杜の紹介
	5		「city & life（都市のしくみとくらし）」no.131	第30回（2019年度）緑の環境プラン大賞を受賞した矢中の杜の奥庭の整備活用の内容と活動の紹介
	5		「city & life（都市のしくみとくらし）」別冊（第30回緑の環境プラン大賞受賞作品集）	第30回（2019年度）緑の環境プラン大賞を受賞した矢中の杜の奥庭の整備活用の内容と成果の紹介
	9		「つくば R8 ロゲイニング」サイト	筑波大学生による矢中の杜の紹介
	10	9	常陽リビング お散歩マップ秋号	「暮らしのなかの陶」展開催の広告（ネオつくばプロジェクトによる）
	11	30	茨城新聞（地域面+WEB版）	「筑波大生、イベント計画」の記事内で矢中の杜見学の様子の紹介
	12		茨城トヨペット広報誌「SUNSUN vol.61 2021 WINTER」	「カローラクロス爽快ドライブ in つくば」にて矢中の杜の紹介
2022	3	2	FB ページ「つくば市民活動ひろば」	「矢中の杜」の守り人の活動紹介
	3		「つくば湧水マップ」	矢中の杜横井戸の紹介

NPO 会員数（2022 年 3 月 31 日現在）

正会員 18 名 / 友の会会員 31 名 / 賛助会員 8 名 計 57 名



守り人満喫デー

2021年7月18日（日）、栃木県の益子町にある濱田庄司記念益子参考館を見学しました。かねてよりワークショップに参加いただいた縁で交流があった濱田雅子さんのご好意により、館内をご案内いただけるということもあり、またとない機会に沢山の参加者が集まりました。まだ感染症の恐れがあるため現地集合・現地解散とし予防対策を徹底しました。

中に入ると緑豊かなゆったりとした敷地の中に建物が点在していました。やや傾斜があり奥行きのある造りになっており、建物ひとつひとつの設えも素晴らしいものばかりでした。参考館の成り立ちや展示品についての説明を受け、その愛らしくユニークで温かみのある品々を見つめる皆さんの目もキラキラと輝いていました。建物の保存の状況、今後の計画などの話を伺いながら実際に使われていた登り窯も拝見し、濱田庄司氏がお暮らしになっていた頃に心を馳せ息遣いを感じながら参考館を後にしました。

また縁あって信頼できる方に委ねられた矢中クラシックカーに再会し、触れ合えたことも忘れられない思い出となりました。

（守り人MK）

守り人育成講座
（北条の歴史、ガイド養成）

11月13日（土）と3月12日（土）に守り人育成講座が開催され、とても幅広い年齢層の方々にご参加頂きました。今年度は、ガイド養成だけではなく、11月の講座では北条の歴史について「北条街づくり振興会」の坂入会長からお話を聞き、矢中の杜と北条の町を、より深く知る良いきっかけとなりました。北条の長い歴史の中で「矢中の杜」が存在し続けているということは、その魅力が、守り人にはもちろん、見に来てくださる方々の心にも強く響くからではないでしょうか。そして、その魅力を後世に伝え続けていけるよう、これからも大切に守り人の活動を続けていければと思います。3月の講座の後には、その魅力を伝えるべく、早速、ガイドとしてデビューされた方も。守り人それぞれの思いを込めたガイドツアーをより多くの方々に楽しんでいたきたいと思います。

（守り人S）

■守り人満喫デー
1 益子参考館を見学 2 石造りの蔵など建物自体も見応えがありました 3 世界各国からの収集品がたくさん！
4-6 大切に保管されている矢中クラシックカーとの再会に大満足！ 7 緑豊かなゆったりとしたところでした

■守り人育成講座
8 坂入会長から北条の歴史を聞きました 9 井上理事長による矢中の杜と文化財保護制度の講座